

静岡市監査委員会 会議録

会 議 令和7年度 第1回 監査委員定例協議会

開催日時 令和7年5月9日（金） 午前9時15分～午前11時45分

出席者 監査委員 深澤 俊昭、白鳥三和子、堀 努、石井 孝治
事務局長 杉田 陽子
書記 柴 秀和
山田 和誠、山田 裕 上野 貴、蝦名 倫代
宇佐美亜希、袴田有美子、齋藤 升美
青野 洋平、神山 悟、谷 梓

会議内容

- 1 開会宣言 柴次長
- 2 例月現金出納検査等（3月分）

柴次長から、事務局で実施した企業会計のつり銭資金等の現金在高検査の結果について、出納事務の重要な点においておおむね正確に行われていた旨の報告並びに病院事業会計及び水道事業会計を対象とした棚卸資産実地検査並びに各種会計の有価証券等検査の結果について、いずれも適正に処理されていることが確認された旨の報告があった。

なお、病院事業会計及び水道事業会計の棚卸検査の抽出方法について次のとおり発言があった。

（白鳥委員）

検査対象の抽出は、どのような判断基準で行っているか。

（事務局）

病院事業会計については、無作為で抽出している。

（白鳥委員）

無作為というのは、具体的にどのような方法なのか。乱数により抽出しているのか。方法を確認したい。

（事務局）

調剤が900品目ほどありその中から10件、注射が500品目以上ありその中から10件抽出している。リストの中から無作為で毒物、劇物に偏りがないよう、目に付いたものを引っ張っている。

（事務局）

水道事業会計については、抽出10件のうち5件は、相手方から一覧表をもらい、表の中から無作為に抽出しており、また、品目に偏りがないようにしている。残り5件は保管庫

の品物から抽出している。品目は全体で339品目あり、そのうち今回検査に行った船越資材倉庫には259品目がある。

その後、山田参事から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告の後、各会計の区分に応じて、監査委員による説明聴取や質疑を行った（各公営企業会計については、検査調書の説明に先立ち令和6年度決算見込み等の説明がなされた。）。

（１）説明者等

ア 各種会計 青野係長（監査第3係）

イ 病院事業会計 清水病院事務局長、病院経営企画課長、病院経営企画課病院管理担当課長、医事課長

ウ 簡易水道事業会計 水道部長、中山間地水道課長

エ 水道事業会計 経営管理部長、上下水道経理課長

オ 下水道事業会計 経営管理部長、上下水道経理課長

カ 農業集落排水事業会計 農政部長、農地整備課長

（２）発言等

ア 各種会計

特になし

イ 病院事業会計

（白鳥委員）

所得税の追徴の件について、病院が立て替えて追加納付した分に係る対象職員からの返還はどれくらい進んでいるのか。

（病院経営企画課）

対象職員の大半が医師であるが、医師の場合は早ければ半年ほどで次の病院に異動してしまうような状況が見られる中で、対象者76人のうち49人が退職をしまっているのので、医師の転院先に係る調査を今進めているところである。退職者も含め、それぞれの対象者に対して通知をしていく予定である。

（白鳥委員）

今後の対応で、会計処理ソフトの導入をしていくとのことだが、会計処理ソフトは源泉徴収や給与計算をしてくれるものではないのではないか。

（病院経営企画課）

静岡病院で既に導入されているが、年末調整などに対応できるソフトがあり、それと同じものを導入していきたいと考えている。今回、問題となった前職分の所得が把握できなければ年末調整できないという点について、このソフトの中ではそのようなものがはじかれるよう設定されているため、再発防止に役立つと考えている。

（石井委員）

令和6年度の決算見込みについて、今回、過去最大の赤字を見込んでいるということであるが、脳神経外科や皮膚科の医局派遣の撤退による影響がどれくらいあったのか、例えば、その赤字の中の何割ぐらいとなっているのか。

（清水病院事務局長）

入院収益は、前年度と比較して5億7,000万円ほど減少している。この5億7,000万円

のうち、脳神経外科と皮膚科の影響により 3 億 8,000 万円ほど入院収益が落ちている。それ以外にも外科で 1 億 6,000 万円の減少となっており、その合計で約 5 億 4,000 万円～5,000 万円ほどになるので、入院収益減少の大きな要因は、脳神経科と皮膚科の入院収益の減少である。また、外来収益については 7,700 万円ほど減少しているが、このうちの半分弱の 3,000 万円ほどが脳神経科と皮膚科の医局派遣の撤退による収入減というところである。

(石井委員)

来年度以降も同じことになると思うが、医局派遣が再開する見込みはあるのか。

(清水病院事務局長)

脳神経外科と皮膚科についてはない。

再開する見込みがない中で、今回このように赤字が大きく出たことに市長も問題意識を持っており、長年、一般会計の補助に依存した病院経営をしている状況が続いているため、病院の在り方の見直しに着手し始めている。

そのような中で、診療科の整理も今後やっていかなければならないということで、今回はたまたま医局の撤退により脳神経外科、皮膚科が縮小、休診という形を取っているが、今後は現存している診療科も含めて、清水区の医療体制を整えていくために何を残すべきかいうところを、今までの状況や地域のニーズも踏まえて見直しを行い、再編していくことを考えている。

(石井委員)

それぞれの診療科において 3 人ずつ医局派遣の撤退があったということであるが、そういったことはよくある話なのか。

(病院経営企画課)

平成 26 年には腎臓内科と循環器内科が、平成 29 年には血液内科で撤退があった。清水病院は慶応大学の医局からの派遣が多いのだが、慶応大学からすると清水病院は、派遣している地域の一番西側に位置しており、段々と医師が都心に移っていつている状況である。

(石井委員)

そうすると慶応大学が引き上げるという話になったときに、一気にいなくなるということか。

(病院経営企画課)

そのとおりである。

(清水病院事務局長)

慶應大学から見ると、静岡日赤病院と清水病院が一番西にある。今の若い医師は、首都圏に留まっていたいという意向があり、昔と違って遠出させようとする辞めてしまうこともあるようである。

ただ清水病院としては、医師を充実させなければならないので、引き続きお願いはしている。

(深澤代表)

退職給付引当金が、当月に 1 億 1,000 万円計上されているが、これは予定どおりのものなのか。

(病院経営企画課)

特段、何か特殊な事情があつてというものではなく、年度末に退職される方に、引当金を取り崩して支払いをするというものである。

(深澤代表)

これまで協議会の会議録を確認すると、看護師の急な退職等があることから、看護師の確保に苦慮しており、色々な対応策を講じているとのことであるが、看護師の不足による経営への影響はどうか。

(清水病院事務局長)

看護師は、令和6年度では採用者数が14人に対し、退職者が32人で、18人減っている。令和5年度も同じような状況であり、採用者が20人に対し、退職者が44人で、24人減っている。

この2年で大きく減っており、看護師の確保ができていないことから、460ある病床についても、看護師の人数に応じた病床が設定されるため、稼働できる病床が令和7年度では290ほどである。

看護師がもっとたくさん確保できていれば、稼働できる病床も増やせるのだが、看護師が確保できていないことにより病床が制限されており、それも収益に結びつかない部分となっている。

(深澤代表)

昨年度、定着に向けた取組をしているとのことであるが、その状況はどうか。

(清水病院事務局長)

昨年から東京医療センターの松本先生という慶応大学の名誉教授にアドバイザーとして入っていただいております、今年度も引き続き対応していただいている。

そのような中で、市政変革研究会に携わっていただいている慶応大学の神成先生にも入っていただいている。看護師の離職の主な原因と捉えているのが、看護師としての忙しさであったりするので、なるべくこれまで紙で行っていた処理を電算化し、業務の負担軽減をさせようということで、昨年から松本先生、神成先生、それからDX推進監の山田さんにも入っていただき、プロジェクトチームの中で活動している。

手間が掛かるような業務、事務仕事をなるべく電算化して負担軽減するようにし、昨年度から取り組んでいることで少しずつ成果が出てきている。

(深澤代表)

現場の声はどうか。

(清水病院事務局長)

現場の声がどうなっているかということを我々としては聞いていきたいが、そこまではまだ至っていない。

(白鳥委員)

大口定期預金をやめているところ、使わないお金は有利なところに置いておくほうがよいと思うが、どのように考えているのか。

(病院経営企画課)

預金に関しては年度末ということで一旦戻している。この後、今の利息等も状況もあるので、決算の未払金等の状況を確認した上で、できる限り資金運用をして利息を得ていきたいと考えている。

ウ 簡易水道事業会計

特になし

エ 水道事業会計

特になし

オ 下水道事業会計

特になし

カ 農業集落排水事業会計

(白鳥委員)

補助金収入もあると思うので補助金を除いた収支の状況も並べて示していただきたい。

(農地整備課)

御指摘のとおり一般会計から補助金を2億912万7千円繰り入れている。単純に差引きすると1億5500万円余の不足が生じる形になる。

(深澤代表)

試算表の建設仮勘定に当月約730万円計上されているが、この内容はどのようなものか。

(農地整備課)

過去に整備したもので、具体的には令和5年度に実施した委託料である。布沢・土地区農業集落排水施設機能診断業務に320万円余、同じく令和5年度に実施した同地区の費用対効果算定等業務に400万円余、これを合わせた数字が建設仮勘定となっている。

(深澤代表)

令和5年度に実施したものを今回計上するという事でよいか。

(農地整備課)

まだ供用開始をしていないことから仮勘定に計上するが、そのタイミングとしては、令和6年度から企業会計に移行した際に総務省の手引等を参考にしたところ、最初の決算を行うまでに反映する必要があるとのことであったため、今回計上した。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第1号 令和6年度各種会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

イ 協第2号 令和6年度井川財産区会計及び両河内財産区会計歳入歳出決算審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

(石井委員)

それぞれの財産区議会の構成はどうなっているのか。

(事務局)

井川財産区は10人、両河内財産区は13人の議員で構成されている。

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

ウ 協第3号 令和6年度決算に基づく財政健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

エ 協第4号 令和6年度決算に基づく公営企業経営健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) 報告事項

ア 報第1号 代表監査委員の職務を代理する監査委員の指定について

(ア) 説明者

深澤代表監査委員

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

イ 報第2号 内部統制の不備（令和7年3月分）について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和6年度第12回定例協議会議事録及び令和7年度第1回臨時協議会議事録の公表について・・・・・・・・・・・・・・・・山田参事が説明

イ 5月・6月の日程について・・・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長